



2018-2019 年度
9月号
NO. 348

強調月間

ユース

THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒136-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL 03-3615-5565

国際会長：Moon Sang Bong (韓国) 主題「私たちは変えられる」
アジア地域会長：田中博之 (東京多摩みなみ) 主題「アクション」
東日本区理事：宮内友弥 (東京武蔵野多摩) 主題「為せば、成る。」
関東東部部長：衣笠輝夫 (埼玉) 主題「良いものを見つけ・つなげて、よくなる」
東京ひがしクラブ会長：金丸満雄 主題「楽しもう ワイズ!!」

9月例会(部長訪問)

と き 2017 年9月 13 日(木)
PM6:30~8:30
ところ 東陽町センター1 階 YMCA ホール

受付：鮎澤正和
司会：山口 隆

プログラム

開会点鐘 会長 金丸満雄
ワイズソング／ワイズの信条
開会挨拶 金丸満雄
ゲスト紹介
食前の感謝
今月の誕生日・結婚記念日

関東東部アワー

部 長：衣笠輝夫 (埼玉)
地域奉仕・Y事業主査：東 裕二 (所沢)
国際・交流事業主査：澁谷弘祐 (所沢)
ユース事業主査：佐竹 誠 (八丈)
メネット事業主査：青木清子 (千葉)

スマイル／各種報告

閉会点鐘 会長 金丸満雄

9月はユース強調月間

東日本区ユース事業
主任 山本剛史郎(川越)

★ユースはワイズの未来★

いつもユース事業にご支援いただきありがとうございます。ユースは YMCA、ワイズメンズクラブの未来であり、その支援はいつの日か YMCA、ワイズメンズクラブのみならず、社会全体の利益 になると思います。私自身も 1994 年、学 Y、ワイズメンズクラブの支援を受け、埼玉 YMCA のフィリピン・ワーク・キャンプに参加したことが、その後の YMCA・ワイズメンズクラブに関わるきっかけでした。9 月はユース活動の協調月間で、9 月 7 日(金)～9 (日)にユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)が東京 YMCA 山中湖センターで行われます。これは各 YMCA にリーダーと呼ばれる学生ボランティアがいますが、そのリーダー、特に活動 2 年以下の新米リーダーたちを集めて、YMCA 理解、リーダー同士のつながりを深め、今後の働きに役立ててもらうためのものです。ユース活動の成果は一朝一夕であげられるものではありませんが、ぜひ、長い目でご支援を継続いただきたいと思います。

(理事通信 No.3 より)

☆ 今月の聖句 ☆

『わたしたち強い者は、強くない者たちの弱さをになうべきであって、自分だけを喜ばせることをしてはいけない。』

—ローマ人への手紙第 15 章 1 節—

8月例会

出席者 10 名 メネット 名
会員出席数 7 名 ゲスト 3 名
在籍数 12 名 メキヤップ 2 名
(広義会員 2 名)

ひがし会員出席率 90%

スマイル

7月 10,000 円

※西日本豪雨災害募金とし
YMCA へ献金

2018-2019 年度役員

会 長 金丸満雄
副会長 飯田歳樹
書 記 須田哲史
会 計 鮎澤正和
担当主事 沖 利柯

8 月例会(納涼)

鮎澤正和

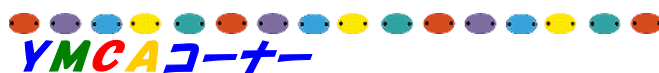
今年の納涼例会は8月18日、木場の「イーズ」の後に出来たお店、中華料理「栄福記」木場店で行われた。メンバー7名とOBの今井さんと衣川さん、事あるごとに駆けつけてくれる関メネットの計10名でアットホームな雰囲気が始まった。最初につい最近亡くなられた皆の共通の友人を偲んでの献杯、その後、新しいプログラムも始まったひがしクラブを皆で盛り上げて行こうという決意の乾杯で幕を開けた。店は我々の他に2〜3組が入れば一杯とそれほど大きくはないが、中国の人がやっているだけあって味は折り紙つき。飲み放題とあって、ビール、焼酎、紹興酒、ワインとまあ勝手にどんどん頼むこと頼むこと、あっ、もちろんソフトドリンクも。料理のおいしさも手伝って話も弾み話題があっちへ飛びこっちへ飛びどうなっているのかよくわからない状態。そのなかで金丸会長から「今年ひがしクラブは30周年を迎える。節目として記念行事も考えられるが、メンバーの減少、メンバー並びに関係者の不幸も重なったので色々な負担を少なくする為内輪でこじんまりとやりたい」との提案があった。皆それぞれの意見を出し話し合った結果、会長の提案を了承しそれに向けて準備を進めることになった。時間をオーバーしたが決めることを決めて楽しく過ごすことが出来た例会だった。



東京 YMCA 夏まつり

8月25日(土)、毎年恒例の東京YMCA“夏まつり”が猛暑の中開催された。11時30分オープニングセレモニーがアトリウムで行われ、菅谷総主事の開会挨拶でスタートした。ひがしクラブの担当は、焼鳥・スパアリブ・磯部餅の炭火焼きコーナー。上からは強烈な太陽の日差し、下からは炭火の熱を浴びる過酷なコーナー。水分補給をしてもすぐ蒸発。昨年の盛況を見越して食材を用意したが、全て完売できず心残りとなった。(昨年と比べ来場者が減少したのか・・・)

今年の助っ人、会員部運営委員：林さんとひがし OB：衣川さん森村さんの奮闘に感謝です。猛暑日の中、最後まで熱中症にかからず無事終了した。お疲れさまでした！



担当主事 沖 利柯

▼西日本豪雨災害支援経過報告

全国YMCAが協力し、西日本豪雨災害被災者支援のため、2,500万円の目標額を掲げ募金活動を展開しています。募金を用いた支援活動として、広島YMCAが主管となり、8月〜9月に計5回にわたり全国YMCAからボランティアを受け入れ、家屋の泥だしなどのワークを行ないます。また被災した小学生を対象としたリフレッシュキャンプも実施するなど、今後、中長期的な視野に立ち、支援活動を継続していく予定です。ご協力をお願い致します。

▼キッズワールドカップ in 韓国

8月6日〜10日、東京YMCAとパートナーシップ関係にあるソウルYMCAの主管により「第9回キッズワールドカップ in 韓国」がソウルYMCAのキャンプ場にて開催され、東京YMCAから小学生7名と、神保伊和雄氏(国際委員)、が参加し、アジア各国の子どもたちとサッカー試合や懇親プログラムを通して交流を深めました。

▼東京 YMCA 夏まつり

8月25日(土)、恒例の「夏まつり」が東陽町センターで開催されました。会員やワイズメン、学生、メンバー、スタッフ等が、模擬店やこどもコーナー、被災地物品販売など、計14のブースを担当し、またジャズバンドの演奏や抽選会も催されました。益金約37万円は会員活動のために用いさせていただきます。ひがしクラブの皆様には、暑い中の焼き物担当、本当に有難うございました。

▼ヒロシマ・ナガサキ原子爆弾の記録

8月6日〜10日の5日間、東陽町センターロビーで平和を考える機会として、標記のパネル展を開催しました。

連日絶え間なく訪れる人があり、特に親子連れなどの姿が多くみられ、延べ600

名の方々に観ていただくことが出来ました。

3月にはひがしクラブのピースウォークに併せて、また平和のためのプログラムを実施予定です。

▼今後の行事日程

- ・国際協力一斉街頭募金
9月15日(新宿駅周辺)
- ・インターナショナルチャリティーラン
9月23日(都立木場公園)
- ・高等学院チャリティーコンサート
9月28日(日本基督教団霊南坂教会)

☆9月10月の予定

9月20日(木)	江東オープン例会
9月23日(土)	東京 YMCA チャリティーラン
9月26日(水)	ベイサイド4周年記念例会
9月29日(土)	第22回関東東部大会
10月11日(木)	ひがし10月例会
10月15日(月)	下町こどもダイニング
10月20日(土)	江東区民まつり
10月21日(日)	江東区民まつり